

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	9	夢と希望を持って、未来に飛躍する人づくりを進めます
計画項目(施策) ＜施策分野＞	31	芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 ＜芸術・文化＞

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	木村 嘉充
教育委員会事務局	吉岡 喜代和

1. 総合計画で掲げている目的など PLAN

施策の目的	本市の貴重な歴史文化遺産や学術上価値の高い自然遺産を後世に継承し、学習と観光の両面からまちづくりに活かします。また、市民が質の高い文化・芸術に触れ親しむことができるようにするとともに、市民の主体的な文化活動を支援します。
施策方針 (めざす姿)	本市の歴史遺産や伝統文化等の保存・継承を図るとともに、市民や文化団体の自主的な文化・芸術活動を支援し、市民の誰もが身近に文化・芸術に親しみ、質の高い文化を創造できる環境づくりを進めます。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市教育振興計画	子どもたちの社会を生き抜く力、心の豊かさを育み、市民が生涯を通して主体的に学びあうことのできる環境づくりを目指し、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として策定	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備を進めるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元の立場からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧 DO

CHECK

行政の主な取り組み		予算額(単位:千円)		事務事業の概要				評価結果	
↓		H26決算額	H27予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	施策 貢献度	今後の 方向性
事務事業名称・事業内容(実績)	担当課								
① 文化的資源の保存と活用									
○ 「丹後王国」とも称される古代丹後をはじめとする歴史や文化財を理解し、郷土への愛着と誇りを培います。									
○ 古代丹後の輝かしい歴史資産を観光資源として活用します。									
○ 先人の生きた証である文化財を守り、その歴史を後世に伝えます。									
○ 地域の伝統芸能等の保存・継承に努めます。									
○ 歴史講演会の実施や講座の開設を充実します。									
○ 網野銚子山古墳などの主な史跡の整備を図るほか、史跡の維持管理や公開するための環境整備に努めます。									
○ 京丹後市史編さん事業の調査成果の普及と地域づくり等への活用を進めます。									
1 文化財保護審議会委員設置事業	文化財保護課	455	517 (517)	市規定	単費	○	内部管理	B	現状維持
文化財保護審議会を開催(4回)、文化財保護審議会の視察研修を実施									
2 文化財保護啓発事業	文化財保護課	2,853	2,038 (2,018)	市規定	単費	○	サービス	A	拡大
資料館での企画展示や文化財セミナー(3回)・「京丹後市博士」育成講座(12回)の実施									
3 文化財保護啓発事業【明許繰越】	文化財保護課	-	497 (497)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業					
「丹後・東海地方の方言等文化交流事業調査報告書」の印刷製本経費									
4 市指定文化財等補助金	文化財保護課	2,000	2,500 (2,500)	市規定	単費	○	維持管理	A	拡大
文化財の修理保全事業に対して補助金を交付(14件)									
5 史跡等維持管理事業	文化財保護課	2,388	2,310 (2,310)	国規定	単費	○	維持管理	B	現状維持
史跡等の維持管理、指定文化財の補修・草刈等を実施(18か所)									
6 市史編さん事業	文化財保護課	2,965	-	市規定	単費	○	サービス	A	終了・廃止
各種調査を実施し、自然環境の本文編、建築の資料編の発刊準備を実施									
7 市史編さん事業【明許繰越】	文化財保護課	700	7,850 (7,850)	なし	単費	○	サービス	A	終了・廃止
久美浜町内の神社(62か所)、寺社(27か所)の建築調査を行い、報告書(60部)を刊行									
8 文化財整理事業	文化財保護課	205	234 (234)	市規定	単費	○	内部管理	B	現状維持
市内4施設に保管している民俗資料と考古資料を旧竹野小学校へ移転									
9 遺跡整備事業	文化財保護課	8,459	17,145 (9,245)	国規定	国・一部	含む	施設整備	A	拡大
国史跡網野銚子山古墳の遺跡保護のため、用地の一部を購入(6筆)									
10 遺跡発掘調査等事業	文化財保護課	2,134	2,197 (697)	国規定	国・一部	-	内部管理	A	現状維持
丹後町域の遺跡分布調査し、遺跡台帳を整理、女布北遺跡を試掘調査し、調査報告書を刊行									
11 文化財保護一般経費	文化財保護課	769	578 (578)	なし	単費	○	サービス	B	現状維持
文化財保護関係団体への負担金支出、関係団体への補助金交付及び施設の維持管理									

② 文化芸術に触れる機会の充実										
○ 資料館施設の整備・充実に努めるとともに、資料館・文化館での文化財の展示会を開催します。										
○ 優れた文化・芸術に親しむ機会を充実します。										
12	芸術文化事業	社会教育課	34,300	36,300 (32,300)	なし	府・一部	含む	サービス	A	拡大
市民が優れた芸術文化に触れる機会提供のため、文化活動団体へ補助金交付										
13	郷土資料館管理運営事業	文化財保護課	1,759	5,025 (5,003)	市規定	単費	○	維持管理	A	統合(整理)
網野郷土資料館の維持管理と運営(入館者数904人)										
14	古代の里資料館管理運営事業	文化財保護課	10,363	10,309 (9,689)	市規定	単費	○	維持管理	A	現状維持
丹後古代の郷土資料館の維持管理と運営(入館者数3,124人)										
15	指定管理施設運営事業	文化財保護課	10,766	7,785 (7,785)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持
琴引浜鳴き砂文化館の維持管理・運営(入館者数9,572人)										
16	丹後展開催事業	文化財保護課	-	28,736 (22,536)	新規事業					
京都文化博物館(京都市)で、交流、伝説、霊地、モノづくりをテーマにした展示会を開催										
③ 文化・芸術活動への支援										
○ 市民が企画・参加する舞台、芸術活動を支援します。										
○ 文化・芸術活動に関する情報提供を充実します。										
17	文化のまちづくり推進事業	企画政策課	-	465 (465)	新規事業					
京丹後文化のまちづくり実行員会実施の郷土芸能祭費用の支援、(公財)京丹後文化事業団が行う研究費用の支援										
			計	80,116	124,486 (104,224)					

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 郷土の歴史、文化財を理解し、子どもや観光客に丹後の歴史や魅力を発信します。 ② 積極的に文化・芸術に親しみます。
--------	---

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
京丹後市教育振興計画								
文化協会加盟サークル数		団体	170	H25	167	H26	200	H36
文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数		人	1,468 (5事業、17講座)	H25	1,880	H26	1,700	H36
資料館、文化館入館者数		人	13,808 (3施設)	H25	13,577 (3施設)	H26	15,000	H36
史跡整備		遺跡	6	H25	6	H26	8	H36

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	本市の歴史遺産や伝統文化等の保存・継承を図るとともに、市民や文化団体の自主的な文化・芸術活動を支援し、市民の誰もが身近に文化・芸術に親しみ、質の高い文化を創造できる環境づくりを進めます。							
めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
	文化財関連事業への参加者数(文化財行政)	人	1,468	H26	1,880	H26	1,700	H36
	資料館・文化館の入館者数	人	13,808	H26	13,600	H26	15,000	H36
文化芸術事業の開催回数	回	70	H26	58	H26	100	H36	

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○ 史跡整備に関して、網野銚子山古墳の用地取得を完了し、整備体制を整えることができた。 ○ 文化財セミナーの開催(全3回、延べ参加者240人)、京丹後史博士育成講座(全12講座、延べ受講者288人)に加え、平成26年度は、市政10周年記念の特別展や文化財公開を行い、市の歴史や文化財に対する市民の興味・関心を高めることができた。 ○ 文化活動団体を支援することによって、市民の芸術文化に触れる機会の提供及び地域文化の普及・振興を推進することができた。	○ 民俗資料の拠点施設である網野郷土資料館の老朽化が著しく、当該施設の資料の保存、展示対策が必要になってくることに加え、本市が有する多くの民俗資料や本市出身画家から寄贈された絵画等の美術品をより有効に公開活用していくため、学校再配置により閉校した施設を活用した展示施設の整備に向けた検討が必要。 ○ 文化活動団体の更なる自主運営化に向けた指導と文化活動団体の活動場所や成果を発表する場所の確保に向けた検討が必要。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	史跡整備事業について、平成26年度までに用地買収を完了、平成27年度から整備に向けた事業導入、平成27年度に民俗資料施設等の統合についての基本計画を策定、平成30年度に完成予定のスケジュールで進めており、平成26年度に予定どおり用地取得を完了することができた。 また、文化活動団体による文化芸術事業の開催回数について、平成25年度は52回だったのが、平成26年度は58回と、若干向上した。 以上のことから、「予定どおり進んでいる」と判断する。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	網野銚子山古墳の整備による史跡の適正な維持管理と有効活用	文化財整備補助金
	2	民俗資料や美術資料を併せた総合展示施設の統合整備(旧郷小学校展示施設整備)による資料等の有効活用	郷村断層に係る展示部分は国庫補助事業での検討
	3	丹後・東海地方のこぼと文化に関して、未調査の中世近世以降についての両地方の関係を調査し、両地方の交流を促進する	
	4	市民の自主的な文化活動の促進(文化協会等の文化活動団体の自主運営化の促進、活動場所や成果を発表する場所の確保に向けた検討)	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業			
細事業名	01 文化財保護審議会委員設置事業			決算書	P.366		
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
455千円		501千円		46千円		90.8%	501千円
目的	文化財の指定・解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。						
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	○文化財保護審議会の開催経費 171千円 市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会を開催した。さらに両丹文化財保護連絡協議会において審議検討した。						
	・報酬	半日×4回(4千円×37人)	148千円				
	・費用弁償		23千円				
	○両丹文化財保護連絡協議会への参加経費 78千円 平成26年度は福知山市大江町の大江町総合会館を会場に開催された。7つの市町の文化財保護審議会委員や関係者を含め約60人が参加し交流を深めた。地域に伝わる伝説、伝承と文化財、およびその活用方法を中心に研修が行われた。						
	・報酬	1日×1回(7千円×10人)	70千円				
・費用弁償、旅費		8千円					
○文化財保護審議会委員視察研修費 206千円 京丹後市の文化財行政に活かすため、史跡の整備活用の先進地や、展示施設の利用に関する視察研修を行った。 平成26年12月10日～11日 清須貝殻山貝塚、熱田神宮、名古屋市博物館、大塚古墳公園など							
・旅費	10人(随行含む)	137千円					
・その他経費	10人(随行含む)	69千円					
燃料費、バス運転委託料、有料道路通行料、随行職員旅費							
主な財源							
評価・課題等	○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間において意見交流を行うことにより研鑽を積むことができた。 ○委員視察研修では史跡整備、資料館整備、運用などをテーマに視察し、今後の文化財行政への活用を検討することができた。 ○文化財指定について審議、答申し、平成27年度で新たに2件を指定文化財として登録することとなった。						
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課						

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業			
細事業名	01 文化財保護啓発事業			決算書	P.366		
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,853千円		3,454千円		601千円		82.5%	4,805千円
目的	京丹後市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。						
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	市民及び来訪者のために「京丹後市史」や文化財の調査成果を周知する講座並びに市制10周年記念の特別展示・文化財公開等を開催した。また、丹後・東海地方の文化交流調査事業を実施した。平成27年度に京都文化博物館で開催する「日本のふるさと大丹後展」に関する企画委員会、資料調査、準備等を行った。						
	○文化財セミナー	講師謝金・費用弁償(3人)	178千円				
	・全3回	延べ参加者240人					
	○「京丹後史博士」育成講座	外部講師(7人)報償費・費用弁償	38千円				
	・全12講座	延べ受講者数288人					
○網野郷土資料館まつり	「織りの実演」謝礼(2人)	18千円					
○京丹後市制10周年記念文化財特別公開	監視員謝礼(6か所)	90千円					
・10月4日～5日	6か所 延べ参加者540人						
○京丹後市制10周年記念特別展「丹後前衛一小牧源太郎・上前智祐展一」	424千円						
・会期：10月4日～10月26日	観覧者344人						
展示図録・小冊子印刷費、展示図録原稿作成謝金(1人)、展示指導謝金(1人)							
○京丹後市制10周年記念、但馬国府・国分寺館連携事業「丹後VS但馬」	892千円						
・会期：9月13日～11月9日	記念講演会(10月30日) 観覧者739人						
ポスター・チラシ・小冊子印刷費、美術運送・資料調査職員旅費等							
○丹後・東海地方の文化・方言等関係調査事業	原稿作成謝金、旅費等	335千円					
○「日本のふるさと大丹後展」開催準備		878千円					
企画委員会(3回)謝金・費用弁償、映像編集委託料、資料調査旅費等							
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	2,957千円					
	実質的な予算執行率	96.5%					
■平成27年度への繰越事業(「丹後・東海地方のことばと文化」印刷費)	497千円						
主な財源	諸収入	京丹後史博士育成事業資料代			20千円		
評価・課題等	○文化財セミナーや「京丹後史博士」育成講座、市制10周年記念の特別展、文化財公開の実施により、市の歴史や文化財に対する市民の興味・関心を高めることができた。 ○平成26年に実施した丹後・東海地方の文化・方言等関係調査事業や京丹後市史調査などの結果を活用し、これらに関連する講座や展覧会を行い、引き続き市民に対する啓発を進めていく必要がある。						
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課						

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	
細事業名	01 市指定文化財等補助金			決算書	P.368
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
	2,000千円	2,000千円	0千円	100.0%	(参考)当初予算額 2,000千円
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 14件 2,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社寺等文化資料保全補助金該当分 10件 1,699千円 ・国、府指定、財団補助金該当分 4件 301千円 <p>※事業対象 寺院の建造物修理、神社覆屋の修理、郷土芸能の道具の修理、 絵画の修理など 事業費総額 16,531千円</p>				
主な財源					
評価・課題等	補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	
細事業名	02 史跡等維持管理事業			決算書	P.368
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
	2,388千円	2,390千円	2千円	99.9%	(参考)当初予算額 2,366千円
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 1,645千円</p> <p>史跡等用地の草刈、清掃により文化財見学の利用供与や、維持管理を行った。 網野銚子山古墳、神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、竹野神社など18件</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 43千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷村断層等の指定文化財施設の維持経費 12千円 ・火災保険料（旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設） 31千円 <p>○京丹後市指定文化財看板等設置事業（土地借上・工事請負、修繕費） 700千円</p> <p>市指定文化財等の看板2基を設置、また関連施設等の看板修繕、案内板増設などを行った他、設置について土地借上料を支出した。</p>				
主な財源	諸収入	国・府道路改良工事に係る府移転補償金			63千円
評価・課題等	<p>○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。</p> <p>○指定文化財については案内看板等の未整備のものもあるため、整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業							
細事業名	01 市史編さん事業			決算書	P.368						
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用							
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)						
2,965千円		11,110千円		8,145千円	26.6%						
					(参考)当初予算額 12,029千円						
目的	京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知らせる。										
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○編さん委員報酬（調査報酬延べ5人） 78千円 ○市史編さん専門委員報酬（補助業務1名、週4日勤務） （日額9,000円×172日）＋（半日6,000円×1日） 1,554千円 ○共済費（専門委員社会保険料等） 254千円 ○原稿作成謝金（14人） 525千円 ○費用弁償（専門委員分） 54千円 ○普通旅費（職員旅費） 208千円 ○「京都府竹野郡木津村役場文書目録」印刷費（300部） 旧木津村（網野町）で作成された公文書の目録 107千円 ○その他事務経費（消耗品等） 185千円 <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>3,260千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>91.0%</td> </tr> </table> <p>■平成27年度への繰越事業（3冊分印刷費） 7,850千円 完了予定日 平成28年3月31日</p>					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,260千円		実質的な予算執行率	91.0%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,260千円									
	実質的な予算執行率	91.0%									
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 247千円										
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○自然・地理関係の調査を進め、本文編の原稿を作成することができた。 ○平成27年度には残りの3冊を刊行し事業終了とする予定であるが、その内容をより多くの市民に周知し、活用していくことが課題である。 										
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課										

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業	
細事業名	01 市史編さん事業（繰越）			決算書	P.368
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
700千円		700千円		0千円	100.0%
					(参考)当初予算額 700千円
目的	京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知らせる。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 久美浜町内の神社62か所、寺院27か所の建築調査を行い、その報告書（60部）を刊行した。 ○京丹後市内社寺建築調査委託業務 700千円 				
主な財源					
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 久美浜町内の社寺調査の実施により、多くの社寺建築の調査を行うことができ、平成27年度に刊行する京丹後市史資料編『京丹後市のまちなみ・建築』の基礎資料とすることができた。 				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05文化財整理事業	
細事業名	01 文化財整理事業			決算書	P.370
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
205千円		206千円		1千円	99.5%
				(参考) 当初予算額	206千円
目的	弥栄資料室に保管している民俗資料のほか、市内の5つの施設で保管している考古資料を旧竹野小学校に移転し、資料の適切な保管を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>弥栄資料室で保管している民俗資料及び市内で保管している考古資料を旧竹野小学校に、収蔵保管するために移転した。</p> <p>○民俗資料及び考古資料の移転 205千円</p>				
主な財源					
評価・課題等	民俗資料、考古資料を旧竹野小学校に移転したことで、資料の適切な保管と今後の有効活用が期待できる。				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業	
細事業名	01 遺跡整備事業			決算書	P.370
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
8,459千円		8,470千円		11千円	99.8%
				(参考) 当初予算額	9,447千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>国史跡網野銚子山古墳について、平成23年に策定された「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図るべく史跡指定地内の一部を用地取得した。</p> <p>○網野銚子山古墳整備事業費 8,459千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 史跡整備に関する文化庁調査官指導旅費等 84千円 ・需用費 消耗品費 3千円 ・使用料及び賃借料 関係者協議に関する有料道路通行料 22千円 ・公有財産購入費 土地購入費 8,350千円 <p style="text-align: right;">(6筆、実面積計2,538.15㎡)</p>				
主な財源	国補	史跡等購入費補助金(4/5)			6,132千円
	市債	遺跡整備事業債(合併特例債)			2,100千円
評価・課題等	○指定地の一部ではあるが用地購入したことにより、史跡用地を民間の開発等による影響を受けることがない公共管理とすることができ、遺跡の保護が図られた。 ○史跡の環境整備を行うにあたり、詳細な現況調査が必要である。当面は、後世の削平(墳丘部の人工的な土地改変、掘削)、崩落等で影響を受けている墳丘裾部を復元設計するためのデータを蓄積することが課題である。				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	07遺跡発掘調査等事業	
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業			決算書	P.370
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
2,134千円		2,144千円		10千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				99.5%	2,129千円
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげる。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>府営ほ場整備事業の計画に伴い事業予定地に所在する女布北遺跡の試掘調査を実施するとともに、年度末に調査報告書を刊行した。</p> <p>併せて、宇川地区および竹野、成願寺地区の詳細遺跡分布調査を行い、遺跡台帳の整理を行った。</p> <p>○女布北遺跡試掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地調査期間 平成26年9月30日～10月10日 調査成果 自然堆積層の下層に自然流路を確認したが、顕著な遺構はなし。 <p>○詳細遺跡分布調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地調査期間 平成26年12月3日～平成27年2月27日 調査成果 城館2か所、古墳4か所を新規に確認したほか、詳細位置が不明であった遺跡の位置特定を行うことができた。 <p>○事業経費 2,134千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 共済費 発掘調査補助員労災保険料等 26千円 賃金 発掘調査補助員賃金 1,498千円 旅費 調査に関する協議旅費 13千円 需用費 消耗品、車両ガソリン代 79千円 報告書印刷費 300部 ほか 84千円 委託料 作業員人材派遣委託料 72千円 使用料及び賃借料 自動車借上料 160千円 有料道路通行料 4千円 重機・水中ポンプ等借上料 198千円 				
主な財源	国補	国宝重要文化財等保存整備費補助金(1/2)		1,000千円	
	府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4)		500千円	
評価・課題等	<p>○開発が計画されている地区において試掘調査を実施したことにより、開発時の埋蔵文化財の調整を行うための基礎資料を整理することができた。</p> <p>○将来の開発に備えて円滑な調整と文化財の保護活用を図るため、市内遺跡の分布調査・範囲確認調査を随時進めていく必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費	
細事業名	01 文化財保護一般経費			決算書	P.370
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
769千円		916千円		147千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				83.9%	656千円
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金の支出や関係団体への補助金の交付を行ったほか、文化財保護課所管施設の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財関係加盟団体経費 70千円 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金等 <ul style="list-style-type: none"> ・全国史跡整備市町村協議会 50千円 ・全国鳴砂ネットワーク 20千円 ○峰山伝統芸能振興会補助金 50千円 ○文化財収蔵施設維持管理費 272千円 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費(成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館) <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 37千円 ・電話料、火災保険料 129千円 ・機械警備委託料、草刈委託料 88千円 ・修繕料(施設ドア修理) 18千円 ○一般事務経費 118千円 ・消耗品費 29千円 ・旅費(鳴砂サミット参加ほか) 89千円 ○交通事故損害賠償金 259千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。</p> <p>○補助金等に関する基本方針に基づき、補助金の見直しについて検討する必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	11芸術文化事業	
細事業名	01 芸術文化事業			決算書	P.352
総合計画	基本方針	Ⅴ パートナーシップ都市		計画項目	⑥ 文化芸術活動の振興
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
34,300千円		34,300千円		0千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				100.0%	34,300千円
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進する。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>文化芸術活動の充実及び推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めた。</p> <p>○地域文化づくり事業委託料 2,000千円 公益財団法人京都府丹後文化事業団に事業を委託し、丹後文化会館を拠点として活動する「文化の仕掛人」を雇用し、地域資源を活用した丹後地域ならではの文化・芸術活動の掘り起こしを行い、地域住民とともに文化力による地域の活性化とまちづくりを進める事業を実施した。</p> <p>○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000千円</p> <p>○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円 ・加盟団体 173団体、2,561人</p> <p>○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円 丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門（5事業）、展示部門（2事業）、セミナー（3事業）を実施した。</p> <p>○小町ろまん短歌大会開催補助金 500千円 ・開催日、会場 平成26年11月30日（日）、アミティ丹後多目的ホール ・短歌投稿 一般の部1,094首、高校生の部437首、中学生の部2,206首 小学生の部638首（合計）4,375首 ・大会内容 添削教室、開会式典、記念講演、入選作品の発表・表彰・選者講評 ・参加人数 140人</p>				
主な財源	府補 繰入金	未来づくり交付金（文化振興推進事業） ふるさと応援基金繰入金		300千円 1,000千円	
評価・課題等	<p>○文化活動団体等への支援により、優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等が推進され、文化芸術活動の充実及び推進を図ることができた。</p> <p>○今後、文化協会等各団体の更なる自主運営化に向けて指導していく必要がある。</p> <p>○短歌大会の作品応募数については、一層の増加が見込めるよう検討していく必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業	
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業			決算書	P.360
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
1,759千円		1,812千円		53千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				97.0%	1,767千円
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である郷土資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関する住民の関心を高め、歴史を学ぶことに資する。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>市民及び市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る郷土資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成26年度入館者数 904人（平成25年度入館者数 784人）</p> <p>○人件費 1,105千円 ・臨時職員賃金・共済費 臨時職員2名分の賃金と労災保険料</p> <p>○維持管理経費 654千円 ・消耗品費 66千円 ・燃料費 17千円 ・光熱水費 155千円 ・修繕料 79千円 ・電話料 72千円 ・保険料 55千円 ・機械警備委託料（長期継続契約） 149千円 ・コピー機借上料 10千円 ・清掃用具借上料 10千円 ・テレビ受信料 15千円 ・郷土資料館まつり用勾玉作り材料 26千円</p>				
主な財源	使用料	郷土資料館入館料			41千円
評価・課題等	<p>○施設を適正に維持管理し、市内でかつて使用された生活道具（民俗資料）を来館者へ公開することで、郷土に残る文化遺産に関する住民の関心を高めることができた。</p> <p>○小学生の社会科見学で実物に触れるなど、様々な工夫を行うことで学習効果の向上につながった。</p> <p>○昭和21年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物は、木造であり施設の老朽化が進んでいるため、旧郷小学校への移転を検討する必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業			決算書 P.360
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
10,363千円		10,552千円		189千円
			98.2%	(参考)当初予算額 10,939千円
目的	古代の里資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶことに資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市所蔵の考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図る丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。平成26年度は、市制10周年記念事業に関する特別展示を実施し、来訪者への普及啓発を図った。</p> <p>平成26年度入館者数 3,124人（平成25年度入館者数 3,881人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人件費 5,562千円 <ul style="list-style-type: none"> ・資料館長報酬、共済費、費用弁償 2,344千円 <ul style="list-style-type: none"> 資料館長報酬 166,500円×12か月=1,998千円 ・臨時職員賃金、共済費 3,218千円 <ul style="list-style-type: none"> 臨時職員3名分の賃金と労災保険料、雇用保険料、社会保険料事業主負担分 ○維持管理経費 3,318千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 1,544千円 ・消耗品等 421千円 ・通信運搬費等役務費 193千円 ・機械警備委託料 127千円 ・浄化槽維持管理委託料 307千円 ・土地借上料 (2,915㎡) 121千円 ・その他管理経費 (清掃用具借上・北°-リス・小修繕等) 605千円 ○体験用経費 135千円 <ul style="list-style-type: none"> ・原材料費 (勾玉作り材料および陶芸体験用材料) 88千円 ・報償費 (窯焼謝礼) 47千円 ○工事請負費 1,348千円 <ul style="list-style-type: none"> ・特別収蔵庫温湿度計取替工事、事務室エアコン修繕工事、電気室扉取替工事 			
主な財源	使用料	古代の里資料館入館料	479千円	
	諸収入	古代の里資料館物品販売代金	4千円	
	諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料	149千円	
	諸収入	古代の里資料館書籍販売代金	165千円	
評価・課題等	<p>○小中学校の地域学習の拠点施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後もより一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。</p> <p>○施設の修繕箇所が増えており、計画的に設備更新を図っていく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.362
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
10,766千円		10,802千円		36千円
			99.6%	(参考)当初予算額 12,215千円
目的	琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>鳴き砂や環境保全の学習施設として、指定管理制度により、掛津区が管理運営にあたっている。教育施設の性格を持つとともに、ジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設としても重要な拠点となっている。</p> <p>平成26年度入館者数 9,572人（平成25年度入館者数 9,143人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 6,494千円 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 ○使用料及び賃借料 1,200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料 ○工事請負費 1,405千円 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場整備工事 ○需用費 1,667千円 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外展示サインの修繕 1,328千円 ・展示写真の更新、ガイドブック印刷など 339千円 			
主な財源	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金	1,400千円	
評価・課題等	<p>○各種の展示事業に加えて、琴引浜をテーマにしたガイドウォークにも取り組み、積極的な管理運営に努めた。各種視察受け入れやジオパーク構想・ガイド事業への支援・協力など行政サイドと連携し、京丹後市の代表的な施設としての役割を果たした。</p> <p>○リピーターを含め市内外の利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアルの検討などの取組を進めるとともに、経費の節減に努める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			